



岐阜SBS/AHTシンポジウム
揺さぶられっこ症候群 (SBS)
～わかっていること、わかっていないこと～

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

日時

2019年 **2月14日** (木) 13:00-18:00 (開場12:30)

会場

朝日大学 5号館512講義室 〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

「揺さぶられっこ症候群 (SBS)」「虐待による頭部外傷 (AHT)」に関する虐待やえん罪の問題点について、海外の専門家とともに考えます。

事前申込必要・参加費無料・逐次通訳あり

お問い合わせ先

科学的知見にもとづいた科学鑑定を目指して
国内外の最新の「知」を集結した
シンポジウムを開催します。
みなさま、奮ってご参加ください。

龍谷大学 犯罪学研究センター
[TEL] 075-645-2184 [FAX] 075-645-2240
[E-mail] crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp
[URL] <https://crimrc.ryukoku.ac.jp>
[Twitter] @Ryukoku_CrimRC

テーマ

揺さぶられっこ症候群（SBS） ～わかっていること、わかっていないこと～

企画趣旨

家庭内で子どもが頭の中に出血を起こしたとき、親の虐待が疑われることがあります。親が子どもと引き離されたり、逮捕起訴されたりしてしまうことも起きています。「揺さぶられっこ症候群（SBS）」「虐待による頭部外傷（AHT）」といわれ、虐待だとされてしまうのです。

このような状況に、諸外国では疑問が呈されています。日本でも、子どもを虐待したと誤って判断される事例があるとの懸念が高まっています。

虐待は許されませんが、えん罪もけって許されません。どこが問題点なのか、これからなにを研究していけばいいのかを冷静に検討することが必要です。

本シンポジウムでは、SBSとAHTについて科学的な観点から議論したいと思います。

海外ゲスト

ウェイニー・スクワイア
(Dr. Waney Squier)



Copyright Ryan JW Smith

元オクスフォード大学ジョン・ラドクリフ病院医師
(神経病理学)

アンダース・エリクソン
(Dr. Anders Eriksson)



ウメオー大学（法医学）

会場 & アクセス

朝日大学 5号館512講義室

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

<http://www.asahi-u.ac.jp/>

■ JR東海道本線「穂積駅」下車 朝日大学スクールバス(無料)で約5分

■ 新幹線「岐阜羽島駅」下車 車で20分



下記QRコードにてネット申込を受け付けています。ご利用ください。

お申込み方法

ネット申込：<https://goo.gl/forms/HJI9BDKygyg5rg153> にアクセスし、Googleフォームに必要事項を登録ください。

Fax申込：龍谷大学犯罪学研究センター（Fax 075-645-2240）まで、

「2/14 岐阜SBS/AHTシンポジウム参加希望」を件名にして、

お名前・ご所属・連絡先を明記の上、送信してください。



主催 龍谷大学犯罪学研究センター、岐阜県弁護士会、中部弁護士連合会、日本弁護士連合会

共催 SBS検証プロジェクト、えん罪救済センター、
龍谷大学刑事司法未来プロジェクト（弁護士金子武嗣基金）、
甲南学園平生記念人文・社会科学奨励助成金「児童虐待事件における冤罪防止のための総合的研究」

乳幼児揺さぶられ症候群『(Shaken Baby Syndrome) 略してSBSと表現される。但し、近時「揺さぶり」という表現を避ける趣旨で、「虐待性頭部外傷」(Abusive Head Trauma) 略して、AHTと表現されることも多い』に対しては、アメリカやイギリス、スウェーデン等諸外国で、その理論的根拠等を疑問視する見方が強まっています。

しかし、現在も我が国ではこの理論が刑事手続や親子分離手続等に重大な影響を及ぼしています。

そこで、SBS・AHTの問題点について、海外から講師をお招きして、海外の知見や議論状況をご紹介頂き、その問題点を広く認識してもらうことを目的としたセミナーを開催します。

会員だけではなく、医療関係者、児童福祉関係者、報道関係者等、多くの市民の方々も参加頂けます。

皆様、是非ご参加頂きますよう、ご案内申し上げます(逐次通訳あり)

2019.2.12

18:30~20:30

受付開始 18:15

場所 **大阪弁護士会館** 2階 203・204

大阪市北区西天満 1-12-5

講師：ウェイニー・スクワイア 氏 (神経病理学 医師)

講師プロフィール

オクスフォード・ラドクリフ病院の神経病理学上級専門医で、脳発達の病理を専門とし、査読付雑誌に100以上の論文を掲載しておられ、特に乳幼児の突然死の病理について研究してこられた世界的にも著名な神経病理学者です。

講師：アンダース・エリクソン 氏 (法医学 医師)

講師プロフィール

ウメオ大学法医学教授。スウェーデン法律諮問委員会の顧問医師として証言され、SBS 仮説における2014年スウェーデン最高裁の無罪判決を導くにあたって、重要な役割を果たされました。2016年のSBU(スウェーデン政府機関の医療技術評価協議会)報告書を執筆した委員会のメンバーでもあります。

講師：笹倉 香奈 氏 (刑事訴訟法)

講師プロフィール

甲南大学教授。法学研究者や弁護士が中心となって立ち上げられたSBS 検証プロジェクトの共同代表で、SBS 理論に基づき、誤った訴追を受けた方々への支援活動を進めておられます。

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ 参加申込書 ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

回答先FAX番号：06-6364-7477

大阪弁護士会 人権課 担当事務局 宛

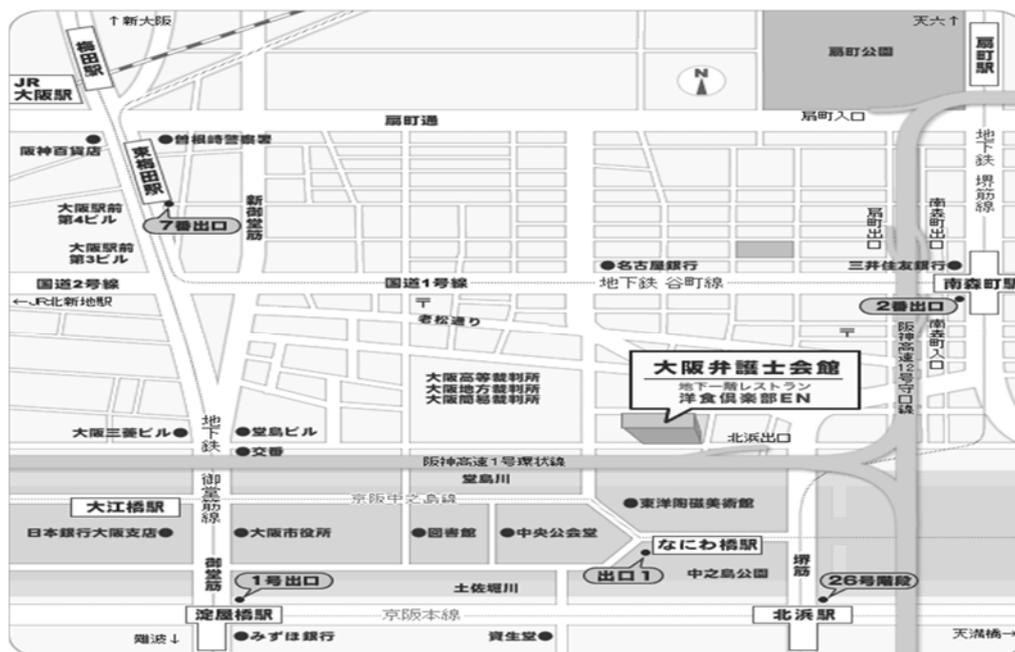
2/12 開催 SBSをめぐる国際セミナーに参加します。

お名前 _____ 参加人数 _____ 名

電話番号 _____

※ご記入いただいた情報は大阪弁護士会プライバシーポリシーに則って管理し、本セミナーの申込管理のために利用する他、目的外利用はいたしません。

▼大阪弁護士会館のご案内



【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口1から徒歩約5分 / 地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車1号出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分 / JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

▼一時保育サービスを実施します

[対象]原則、首がすわっている乳児～未就学児 / [時間]講演会開始15分前から終了15分後まで

一時保育を希望される方は、開催10日前までに大阪弁護士会担当事務局までお電話(06-6364-1227)でお問合せください。申込人数により、お断りさせていただくこともありますので、ご了承ください。

以上